

いいやまの



このコーナーは市内の「今、ここが見どころ!!」を紹介するコーナーです。新幹線で訪れた観光客や帰省されたご親類の方々にお伝えいただくのはもちろん、市民の皆さんにも、もう一度飯山の素晴らしいところに気づいていただく情報をお伝えしていきます。

第11回

テーマは「春を待つひなたち」 飯山城下町ひな街道

この地方では江戸時代後半頃が起源とされる「ひな祭り」。武家や商人の一部で風習が行われたと考えられます。城下町の商家として受け継がれてきた本町商店街では同所を中心に2月13日から「飯山城下町ひな街道」が開催されます。

10周年を迎えた今年も商店街にはたくさんのひな飾りが展示され、各所に設けられたメイン会場では3月1日から6日まで飯山流つるしびななどの展示や、和小物の体験講習や販売などさまざまなイベントが行われます。

初めて飯山駅に展示されるスペシャルつるし雛やふるさと館で行われる「城下町いいやまひな人形展」も含めぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



◀ メイン会場のひとつである「ぎやらりい白銀」には飯山流つるしびな等が展示されています。

ふるさと館には8段飾りをはじめ、江戸時代の享保びなから土びな、宮殿びなまで飯山のひな祭りを振り返る展示が行われています。



飯山城下町ひな街道実行委員長 畑山まり子さんのお話

9年前、ちょうど今年と同じような少雪の年でした。雪が少ない中でも雪まつりを楽しみに来ていただいたお客さまをもてなそうと、お休み処として借りた本町の空店舗にひな人形を飾ったのがきっかけでした。それから本町商店街やふるさと館、そしてひなの会の皆さんのおかげでこのように規模の大きなイベントになりました。

冬のモノトーンの景色の中にひな飾りの赤が映える、飯山城下町ひな街道にぜひ遊びにいらしてください。

詳細は 市民学習支援課 飯山市ふるさと館 ☎ 67-2030
までお問い合わせください。

わが家の人気者

長瀬陽七子ちゃん

飯山地区
3歳11か月
No. 359



陽七子ちゃん

(左) 長女の仁胡 (にこ) ちゃん (右) 三女の天羽 (あも) ちゃん

いつも、姉妹とお姫さまごっこをして遊んでいます。「将来はジャスミンになりたい」と言うくらい、アラジンに出てくるジャスミンが大好きです。最近、クラシックバレエを習い始めました。

人なつこい性格で、自宅のお店にくるお客さんに元気にあいさつをしてくれる看板娘です。のびのび育ってほしいわが家の自慢の三姉妹です。

(大治さん、真佐子さんの次女)

このコーナーに出てみませんか?
わが家の「人気者」に登場していただける? 3歳くらいのお子さんとお母さんまたはお父さんを募集しています。市役所庶務課秘書広報係までご連絡を! (☎ 311-1内線2007)

美術館情報

『ぐい呑み展～高橋正義コレクションから』

3月12日(土)～3月20日(日) ※詳細は本紙31頁

企画展に先立ち、寄贈品の中から長野県にゆかりのある陶芸家の作品をご紹介します。

●唐木田又三 (からきだまたぞう)

1926生-2012没 日本工芸会正会員
昭和初期に途絶えた松代焼の技術復元に成功。青磁の研究後は「寂焼」を完成させ、独自の哲学的思考の世界が反映された作品を数多く残した。



●小池智久 (こいけともひさ)

1978生 長野県工芸会会員・北信美術会評議委員
織部を中心に桃山茶陶の研究を続ける。茶陶からオブジェ等幅広く作品を制作。多数の公募展に出品、入選受賞。個展を中心に活動。

【開館】 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
【休館日】 毎週月曜日
【入館料】 一般300円、市内の小中学生は無料
【問合先】 飯山市美術館 ☎ 62-1501

編集後記

昨年の暮れの話ですが、移住定住推進課の体験企画を経て、飯山市や木島平村に移住されてきた方や移住を検討している方など20人ほどの皆さんが、あるお宅で忘年会を行いました。過去に、いやま住んでみませんか課に所属していた私も友人として呼ばれられ、楽しいひと時を過ごしてきました。▼私が同課にいた当時に移住された方も半数ほどいらっしやう、今も変わらず飯山を愛してくださり、それぞれの楽しみを見つけて生活されていることをたいへんうれしく思いました。▼皆さんは私たち地元人間があたり前のことだと感じる、自然や風景、人と人とのつながりなどをとても素晴らしい、貴重なものと感じ、飯山を心の拠り所とされています。▼お酒も入り、飯山への愛を熱く語られる皆さんの姿を見て、いずれまたこちらに移り住まれた皆さんのお話や対談を市報の中でご紹介したいと思いました。小野沢